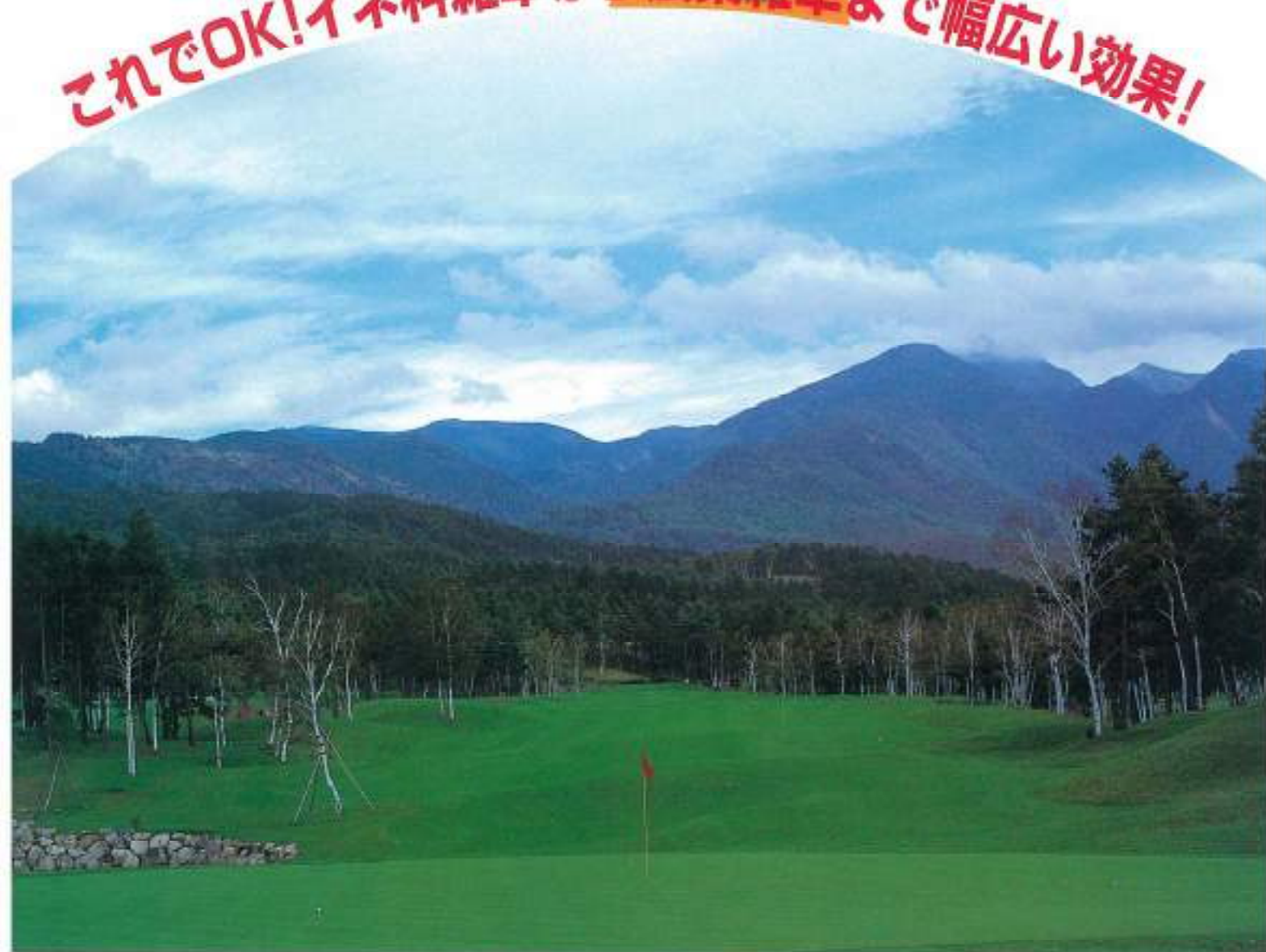


芝生用除草剤

グランドニクス® DF

(ハロスルフロンメチル・プロジアミン水和剤)

これでOK!イネ科雑草から広葉雑草まで幅広い効果!



グラトップ[®]DF

グラトップDFはシンジェンタジャパン(株)によって開発されたジニトロアニリン系除草剤のプロジアミンと日産化学工業(株)によって開発されたスルホニルウレア系除草剤ハロスルフロンメチルの混合水和剤です。イネ科雑草用除草剤と広葉雑草用除草剤が予め混合されていますので、散布の際の薬剤調合の煩わしさがなく便利です。

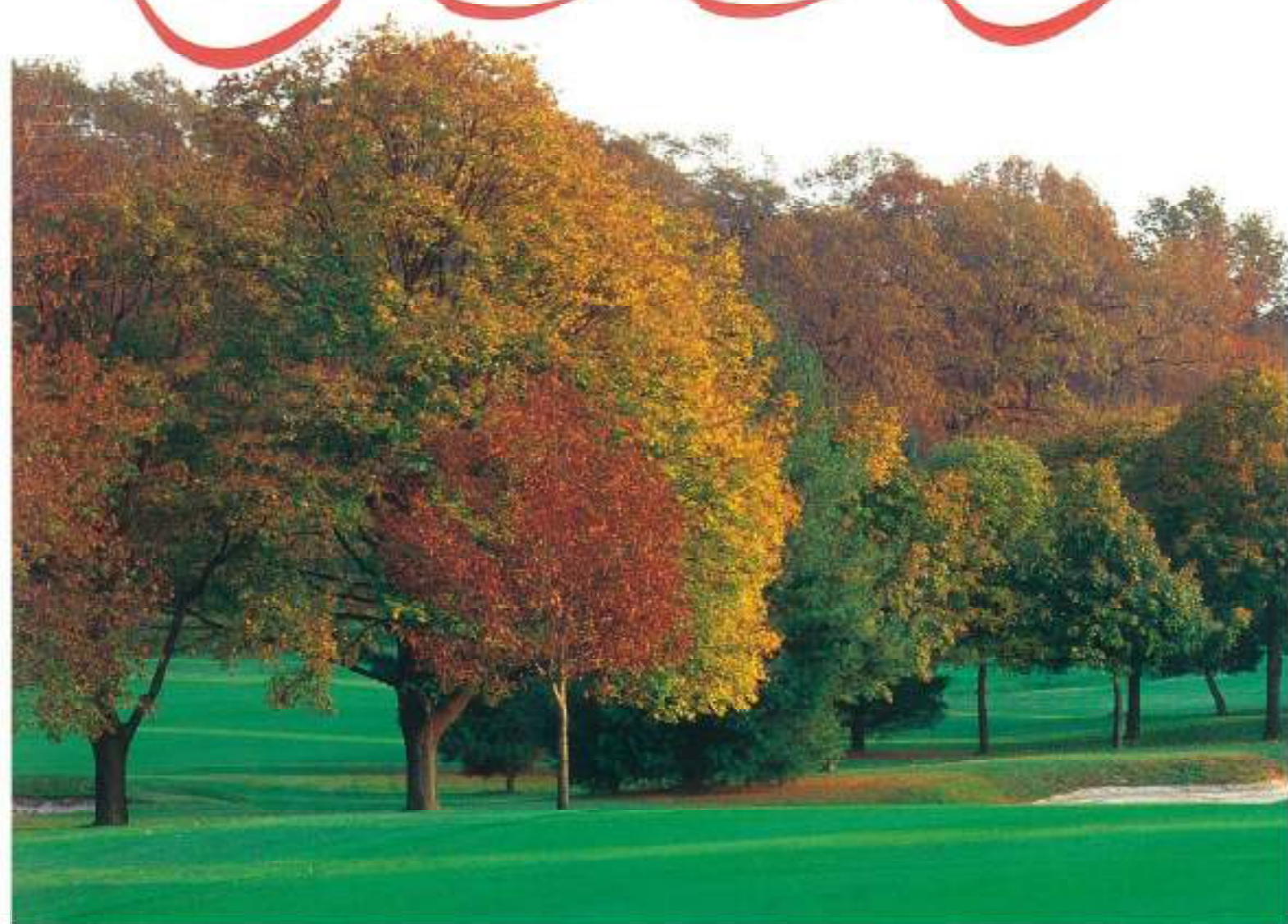
特 長

イネ科雑草から広葉雑草まで広範囲な一年生雑草に効果を示す土壌処理型の除草剤です。

安定した処理層を形成し、長い抑草期間が得られます。

日本芝に対して安全性が高く、芝萌芽期の使用もできます。

人畜、魚介類に対して選択性が高く、環境に及ぼす影響の少ない除草剤です。



①. 適用雑草

メヒシバ、アキメヒシバ、オヒシバ、エノコログサ、スズメノカタビラ等の一年生イネ科雑草、及びアレチノギク、ヒメムカシヨモギ、ノボロギク、ハルジオン等のキク科を始めとする一年生広葉雑草に有効です。

②. 処理時期

イネ科雑草発生前の処理が有効です。
生育が進んだ広葉雑草には効果が劣ることがあります。

③. 処理薬量

0.20～0.25 g/m²の使用が効果的です。
(クサブロックとして0.12～0.15g/m²、インプールとして0.032～0.040g/m²)

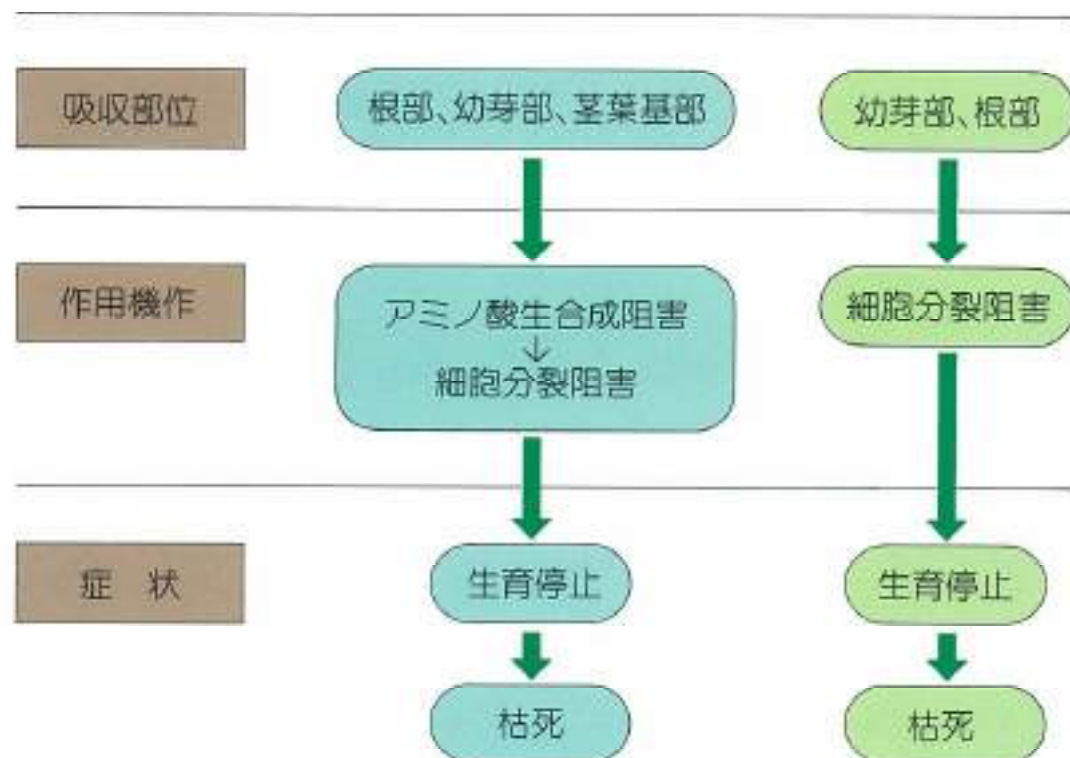
④. 展着剤は必要ありません。

⑤. 洋芝および張り芝直後には薬害の恐れがあるので使用しないで下さい。

⑥. 周辺の植物に薬液がかかると薬害が生じるので、かからないように注意して下さい。

・種類名	ハロスルフロンメチル・プロジアミン水和剤
・有効成分	ハロスルフロンメチル 12.0%
	プロジアミン 40.0%
	その他(鉱物質微粉、界面活性剤) 48.0%
・物理化学的性状	暗黄色水和性細粒
・製剤の安全性	普通物、A類相当
急性経口毒性	ラット ♂ ♀ LD ₅₀ 5,000mg/kg以上
	マウス ♂ ♀ LD ₅₀ 5,000mg/kg以上
急性経皮毒性	ラット ♂ ♀ LD ₅₀ 2,000mg/kg以上
魚毒性	コイ TL _m 48時間 1,000ppm以上
	ミジンコ TL _m 3時間 1,000ppm以上





グラトップDFの試験成績例（概要）

1. 春期処理での効果

試験場所	処理及び調査月日	処理量 (g/m ²)	除 草 効 果						
			メヒシバ	オヒシバ	アザミ	イヌタマ	エシキリ	ヤハズノ	キク科
奥武蔵カントリークラブ (平成8年)	5/10	0.20g	●				●		●
	→	0.25	●				●		●
	8/26	0.30	●				●		●
東日本グリーン研究所 (平成8年)	4/16	0.20g	●		●	●		●	●
	→	0.25	●		●	●		●	●
	7/25	0.30	●		●	●		●	●
浜松シーサイドゴルフクラブ (平成8年)	4/10	0.20g	●	●		●	●		●
	→	0.25	●	●		●	●		●
	→	0.30	●	●		●	●		●
	7/20	対照薬剤	●	●		●	●		●
大月カントリークラブ (平成8年)	4/24	0.20g	●			●			●
	→	0.25	●			●			●
	8/1	0.30	●			●			●

2. 秋期処理での効果

試験場所	処理及び調査月日	処理量 (g/m ²)	除 草 効 果						
			スズメノカタビラ	オランダミミナグサ	オオイトナフグ	アレチノギク	ナズナ	チナコグサモトネ	その他
東日本グリーン研究所 (平成5年)	10/26	0.20g	●	●	●	●	●		
	→	0.25	●	●	●	●	●		
	→	0.30	●	●	●	●	●		
	4/6	対照薬剤	●	●	●	●	●		
兵庫早立中央農業技術センター (平成5年)	9/27	0.20g	●	●		●			●
	→	0.25	●	●		●			●
	→	0.30	●	●		●			●
	3/23	対照薬剤	●	●		○			●
琵琶湖カントリークラブ (平成5年)	9/9	0.20g	●	●					●
	→	0.25	●	●					●
	→	0.30	●	●					●
	2/16	対照薬剤	●	●					●
西日本グリーン研究所 (平成5年)	10/5	0.20g	●			●		◎	
	→	0.25	●			●		●	
	3/18	0.30	●			●		●	

(注1) 雑草発生前土壌処理。

(注2) 除草効果は残草量対無処理区比で示す。

●：極大(0～10%) ◎：大(11～20%) ○：中(21～30%)

(注3) 芝に対する被害はいずれも認められなかった。



適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	㎡ 当 たり 使 用 量		本剤のみを使用する場合の使用回数	使用 方 法
			薬 量 (g)	水 量 (㎡)		
日本芝	一年生雑草	芝 生 育 期 (雑草発生前)	0.20~0.30	200~300	2回以内	散 布

* ハロスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数

3回以内

包装/250g×10袋

* プロシアミンを含む農薬の総使用回数

2回以内

有効期限3年

△ 効果・薬害等の注意

- 本剤の所定量を所定量の水にうすめ、よくかきまぜてから散布する。
- メヒシバ、スズメノカタビラなどイネ科雑草の発生後散布では効果が劣るので、これらイネ科雑草の発生前に時期を失しないように散布する。
- 周辺の植物にかかると薬害を生じるので、散布の際は芝生の中や付近にある草花や花木、畑作物に薬液がかからないようその付近での散布はさける。
- 本剤の散布に用いた器具類は、使用後直ちに洗浄し、他の用途に使用する場合は薬害の原因にならないように注意する。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法など誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

△ 安全使用上の注意

- 眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

● 使用前にはラベルをよく読んで下さい。● ラベルの記載以外には使用しないで下さい。
● 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

取扱店